

平成30年の火災発生状況について

1 出火状況

(1) 出火件数は増加

平成30年1月から12月末までの火災は、79件発生しています。

構成市ごとに見ると、宇部市が57件、山陽小野田市が22件で、平成29年と比べ宇部市で6件、山陽小野田市で3件と共に増加しています。

(2) 建物火災は全火災の41.8%

火災を種別ごとに見ると、その他の火災が38件と最も多く、次いで建物火災が33件、車両火災が3件、林野火災が3件、船舶火災が2件発生しています。

2 死傷者の状況

火災による死者は6人、負傷者は14人発生しました。構成市ごとに見ると宇部市が死者4人、負傷者12人、山陽小野田市が死者2人、負傷者2人でした。死者は、建物火災、車両火災及びその他の火災によるもので、負傷者は、建物火災及びその他の火災によるものです。

3 出火原因

主な出火原因は、たき火が34件、次いでこんろが5件、放火の疑いが4件、たばこ及び配線器具が3件、放火が2件となっています。

4 その他

火災の原因の多くがたき火やこんろ等、人的要因によるものとなっています。平成30年は、たき火が原因の火災が多く発生し、1人が亡くなり、4人が負傷しました。たき火による死者、負傷者は毎年のように発生しています。多くは65歳以上の高齢者です。火災を未然に防ぐため、火気を取り扱う際には消火用水や消火器の準備、複数人で実施する等、十分な警戒と注意が必要です。

また、宇部・山陽小野田消防組合管内の住宅用火災警報器の設置率は64%（平成30年6月時点）となっています。住宅用火災警報器は、就寝中の火災による逃げ遅れを防ぐことが目的であるため、宇部・山陽小野田消防組合火災予防条例で「寝室に煙式の住宅用火災警報器を設置」することが義務付けられています。火災の発生件数は前年と比較し増加したものの、住宅用火災警報器を設置していたため、火災に至らず火災を未然に防いだ案件が増えています。就寝中の逃げ遅れを防ぐため、寝室に住宅用火災警報器を設置しましょう。

なお、台所は義務設置ではなく、設置を推奨する場所となっておりますが、台所に住宅用火災警報器を設置する場合は、誤報を防ぐため、熱式のものを推奨します。

平成30年火災発生状況

	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
件数	33	3	3		2	38	79
死者(人)	4	1				1	6
負傷者(人)	11					3	14
損害額(千円)	151,646	2,722			560	2,954	157,882

焼損面積

建 物		林野(a)	その他(m ²)
焼損床面積(m ²)	焼損表面積(m ²)		
1,702	80	26	45,928

火災原因別火災発生状況

火災原因	建 物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合 計	死傷者		損害額(千円)
								死者	負傷者	
たばこ	1					2	3		1	20,933
こんろ	5						5		1	276
かまど										
風呂かまど	1						1			4,830
炉	1						1			14,179
焼却炉						1	1			
ストーブ										
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道	1						1		1	5,052
排気管		1					1			27
電気機器	1						1		1	1,034
電気装置										
電灯・電話等の配線	1						1			3
内燃機関										
配線器具	1				2		3		1	575
火あそび										
マッチ・ライター	1						1			5
たき火	3		3			28	34	1	4	813
溶接機・切断機										
灯火										
衝突の火花										
取灰										
火入れ						1	1			
放火	1	1					2	1		263
放火の疑い	3					1	4			156
その他	2					1	3			503
不明・調査中	11	1				4	16	4	5	109,233
合 計	33	3	3		2	38	79	6	14	157,882

※ 損害額及び出火原因については、すべての火災原因調査が完了していないため確定値ではありません。

宇部市

平成31年2月4日現在

平成30年火災発生状況

	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
件数	26	2	2		1	26	57
死者(人)	3	1					4
負傷者(人)	10					2	12
損害額(千円)	129,525	284			500	2,954	133,263

焼損面積

建物		林野(a)	その他(m ²)
焼損床面積(m ²)	焼損表面積(m ²)		
1,429	45	17	34,116

火災原因別火災発生状況

火災原因	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計	死傷者		損害額(千円)
								死者	負傷者	
たばこ	1					2	3		1	20,933
こんろ	3						3		1	51
かまど										
風呂かまど	1						1			4,830
炉	1						1			14,179
焼却炉										
ストーブ										
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道	1						1		1	5,052
排気管		1					1			27
電気機器	1						1		1	1,034
電気装置										
電灯・電話等の配線	1						1			3
内燃機関										
配線器具	1				1		2		1	515
火あそび										
マッチ・ライター	1						1			5
たき火	1		2			20	23		2	771
溶接機・切断機										
灯火										
衝突の火花										
取灰										
火入れ										
放火	1	1					2	1		263
放火の疑い	3					1	4			156
その他	2						2			503
不明・調査中	8					3	11	3	5	84,941
合計	26	2	2		1	26	57	4	12	133,263

※ 損害額及び出火原因については、すべての火災原因調査が完了していないため確定値ではありません。

平成30年火災発生状況

	建物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合計
件数	7	1	1		1	12	22
死者(人)	1					1	2
負傷者(人)	1					1	2
損害額(千円)	22,121	2,438			60		24,619

焼損面積

建 物		林野(a)	その他(m ²)
焼損床面積(m ²)	焼損表面積(m ²)		
273	35	9	11,812

火災原因別火災発生状況

火災原因	建 物	車両	林野	航空機	船舶	その他	合 計	死傷者		損害額(千円)
								死者	負傷者	
たばこ										
こんろ	2						2			225
かまど										
風呂かまど										
炉										
焼却炉						1	1			
ストーブ										
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道										
排気管										
電気機器										
電気装置										
電灯・電話等の配線										
内燃機関										
配線器具					1		1			60
火あそび										
マッチ・ライター										
たき火	2		1			8	11	1	2	42
溶接機・切断機										
灯火										
衝突の火花										
取灰										
火入れ						1	1			
放火										
放火の疑い										
その他						1	1			
不明・調査中	3	1				1	5	1		24,292
合 計	7	1	1		1	12	22	2	2	24,619

※ 損害額及び出火原因については、すべての火災原因調査が完了していないため確定値ではありません。